

子どもと子育てに関する調査
(独身者対象)

結果報告書

平成31年3月

青森県

目 次

調査結果のまとめ	1
調査結果	
1. 回答者およびその家族の状況	8
2. 交際に関する意識・実態	25
3. 結婚活動に関する意識・実態	36
4. 結婚に関する意識	44
5. 結婚生活に関する意識	73
6. 妊娠・出産に関する意識	75
7. 子どもに関する意識	83
資料編	
・自由回答まとめ	
・調査票	

調査結果のまとめ

調査結果のまとめ

1. 交際について

(1) 現在の交際状況

現在の交際状況について、「交際している人はいない」が、72.7%で最も多く、次いで「交際している人がおり、結婚を考えている」が16.8%、「交際している人がいるが、結婚は考えていない」が6.7%、「婚約者がいる」が2.8%となっている。

(2) 交際相手と知り合ったきっかけ

現在、婚約者がいるまたは、交際している人がいる方が、現在の交際相手と知り合ったきっかけは、「職場や仕事の関係で」が25.7%で最も多く、次いで「友人や兄弟姉妹を通じて」が21.7%、「学校で」18.4%、「インターネット、SNS」が13.2%となっている。

(3) 交際への意識

「交際している人はいない」と回答した方の交際に対する意識は、交際相手が「欲しい」が41.4%、次いで「どちらでもよい」26.6%、「特に考えていない」16.4%、「欲しいと思わない」11.6%、「わからない」3.3%となっている。

(4) 交際相手を欲しいと思わない理由

現在、交際している人がいなく、交際相手を「欲しいと思わない」と回答した方のその理由としては、「恋愛が面倒」が61.2%、次いで「自分の趣味に力を入れたい」57.1%、「恋愛に興味がない」49.0%となっており、この3項目に集中している。

(5) 交際相手との出会いのために行いたいこと

現在、交際している人がいないが、交際相手が「欲しい」と回答した方が、出会いのために行いたいこととして、「友人に紹介を頼む」が57.5%で、次いで「合コンやパーティに行く」34.5%、「職場の同僚や先輩に紹介を頼む」32.2%、「趣味やサークルに入る」24.7%、「婚活サイトを利用する」14.9%、「インターネットやSNSを利用する」14.9%、「行政等の結婚支援事業（会費なし）を利用する」10.3%となっている。また、「特に何もしない」は19.5%となっている。

2. 結婚活動について

(1) 結婚活動の有無

現在の結婚活動について、「特に考えていない（まだわからない）」が72.7%で最も多く、次いで「結婚相手にめぐり会う可能性がないのでしていない」が9.8%、「している」が7.8%、「結婚相手にめぐり会う可能性があると思うのでしていない」が6.4%となっている。

結婚活動を「している」と回答した方は、平均で27.9歳に活動を始めており、男女別では、男性28.7歳、女性が27.4歳となっている。

(2) 結婚活動における必要なサポート

結婚活動において現在又は将来に必要なサポートとしては、「特にない」が54.9%で最も多く、次いで「知人からの異性の紹介」が26.8%、「合コンやパーティの開催」が17.8%、「行政等が行う結婚支援のためのマッチング（お見合）システム」が12.1%となっている。

(3) 結婚活動で利用するイベント・セミナー

結婚活動でよく利用する（又は将来的に利用してみたいイベント・セミナー）では、「特にない」が最も多く55.8%となっている。他の項目では突出して多い項目はないが、「交流パーティ」が18.7%、「街コン」14.3%、「スポーツ」11.1%、「アウトドア」10.5%となっている。

(4) イベント・セミナーの参加地域

結婚活動をしている方が結婚相手を探すためのイベントに参加する地域について、「住んでいる市町村内」が33.4%、「圏域（東青地域、中南地域、三八地域、西北地域、上十三地域、下北地域）」26.7%、「青森県内」17.8%、「範囲は決めていない」13.3%となっており、遠方になるほど割合は少なくなっている。

3. 結婚について

(1) 結婚に対する希望

結婚に対する希望では、「適当な時期がきたら結婚したい」が30.1%と最も多く、次いで「特に考えていない」27.5%、「なるべく早めに結婚したい」17.6%、「理想の人に出会うまでは結婚しない（出会わなければ生涯独身でよい）」13.5%となっている。

現在、「交際している人はいない」と回答した方では、「特に考えていない」が30.9%と最も多いが、「なるべく早めに結婚したい」は16.4%、「適当な時期がきたら結婚したい」は、24.0%となっており、約40%は結婚願望がある。

「なるべく早めに結婚したい」と回答した方の結婚希望平均年齢は、全体では30.7歳となっている。年代別では、「20～24歳」が25.3歳で年代が上がるにつれて結婚希望年齢も上がっている。

また、「適当な時期がきたら結婚したい」と回答した方の結婚希望平均年齢は、30.6歳となっており、「なるべく早めに結婚したい」と回答した方より0.1歳ではあるが、結婚希望平均年齢が低くなっている。

(2) 結婚していない背景

現在、結婚していない背景としては、「適当な相手がないから」が44.9%で最も多く、次いで「経済的に余裕がないから」が31.3%、「自由や気楽さを失いたくないから」が28.8%、「異性との出会いの場がないから」が27.6%、「結婚後の生活資金が足りないと思うから」が24.7%となっている。

また、現在の交際状況別では、「婚約者がいる」または「交際している人がおり、結婚を考えている」状況では、「経済的に余裕がないから」、「結婚後の生活資金が足りないと思うから」、「仕事が忙しい、仕事を優先したいから」と主に経済的、仕事が背景理由としてあるのに対して、「交際している人がいるが、結婚は考えていない」または、「交際している人はいない」状況では、「自由や気楽さを失いたくないから」、「経済的に余裕がないから」「趣味や娯楽を楽しみたいから」、「適当な相手がないから」、「異性との出会いの場がないから」など、主に、出会い、自由、趣味が背景理由としてある。

(3) 結婚することの利点

結婚することの利点について、「利点がある」79.6%、「利点はない」18.5%となっており、8割が利点はあると考えている。

利点がある理由としては、「子どもや家族を持てる」が64.0%で最も多く、次いで「精神的な安らぎの場が得られる」50.1%、「愛情を感じている人と暮らせる」48.8%、「人間として成長できる」35.6%となっている。

(4) 結婚することの不利益

結婚することの不利益について、「不利益がある」72.7%、「不利益はない」24.5%となっており7割以上が結婚することの不利益があると考えている。

不利益がある理由としては、「やりたいことの実現が制約されてしまう」が61.5%で最も多く、次いで「自由に使えるお金が減る」52.0%、「育児・家事等の負担が重くなる」46.6%、「人との付き合いが増え、煩わしい」27.6%、「家族に対する責任が重くなる」24.9%となっている。

(5) 結婚することの利点と不利益の相関関係

「利点がある、不利益がある」が 59.8%と最も多く、次いで「利点がある、不利益はない」18.8%、「利点はない、不利益はある」12.8%、「利点はない、不利益はない」が 5.5%となっている。また、「利点がある、不利益はない」は、「20～24 歳」が 26.2%で最も多く、「利点はない、不利益はある」は、「35～39 歳」が 16.5%で最も多くなっている。

(6) 結婚を考える際の条件

結婚をしたいと希望している方が結婚を考える際の条件として、「世帯で一定の収入の見込みが立つこと」が 51.7%と最も多く、次いで「結婚資金（挙式や新生活の準備費用）を確保すること」24.9%、「精神的に落ち着くこと」23.4%、「自分の雇用が安定すること」20.1%となっている。

(7) 結婚相手に求める条件

結婚をしたいと希望している方が結婚相手に求める条件としては、「人柄」が 79.7%と最も多く、次いで「価値観が近いこと」44.9%、「経済力」40.4%、「家事・育児の能力や姿勢」31.4%、「自分の仕事への理解や協力」20.6%となっている。

4. 結婚生活について

(1) 夫婦間での家事・育児の負担

結婚をしたいと希望している方が、夫婦間で家事や育児の負担がどのようにあるべきかについて、「どちらも同じくらい負担する」が48.5%と約半数となっている。「夫の方が多く負担する」、「どちらかという、夫の方が多く負担する」の合計で2.8%、「どちらかという、妻の方が多く負担する」、「妻の方が多く負担する」の合計では20.2%となっている。

(2) 理想的な家族の形態

結婚をしたいと希望している方の理想的な家族の形態は、「夫婦と子どもの世帯」が最も多く、57.4%となっている。次いで「夫婦と子ども、親の三世代世帯」11.6%、「夫婦のみの世帯」2.6%となっている。

5. 妊娠・出産について

(1) 将来の出産時の不安

妊娠・出産を望んでいる方が、出産時の不安に思っていることは、「経済的負担が大きい」が40.9%で最も多く、次いで「体力的負担が大きい」29.5%、「精神的負担が大きい」22.6%、「どのような支援制度があるのかわからない」21.1%、「仕事との両立が困難である」が19.0%となっている。

(2) 将来の出産及び子育てに必要と思うサポート

妊娠・出産を望んでいる方が、将来の出産及び子育てに必要と思うサポートについては、「妊娠や出産にかかる費用の援助」が47.0%、次いで「教育費の負担軽減」、「幼稚園・保育所などの費用負担の軽減」がともに26.3%、「幼稚園・保育所などの充実」16.8%、「配偶者の家事・子育てへの協力」15.5%、「妊娠・出産に関する医療サービスの向上」15.0%、「産科・小児医療、新生児医療体制の充実」14.9%となっている。上位3項目は、妊娠から教育までの費用に関して、次に夫婦間の協力、医療に関する項目が多くなっている。

(3) 妊娠率の低下

妊娠・出産を望んでいる方が、男性も女性も35歳を過ぎると様々な原因で妊娠率が低下することの認識について、「男性も女性も妊娠する力が低くなることは知っていた」が42.8%で最も多く、「女性の妊娠する力が低くなることは知っていた」が26.9%、「知らなかった」は13.5%、「男性の妊娠する力が低くなることは知っていた」は回答がなかった。

また、男性も女性も35歳を過ぎると妊娠率が低下することについて思うこととして、「子どもを持つのは早いほうが良いと思った」が46.2%、次いで「年齢を重ねても出産できるようになって欲しいと思った」15.0%、「なんとも思わない」が12.6%となっている。

6. 子どもについて

(1) 子どもと関わりのあった場面

経験上、子どもとの関わりを持ってきた場面は、「兄弟姉妹・親せきの子どもと」が60.1%、次いで「友人・知人の子どもと」43.2%、「職場や仕事の関係で」42.7%、「学校で」が28.3%となっている。

(2) 欲しい子どもの人数

今後、欲しい子どもの人数は、「2人」が42.7%、次いで「3人」が16.9%、「わからない」が18.5%、「欲しくない」が13.1%、「1人」が6.2%となっている。また、「1人」～「5人以上」と回答した合計（子どもが欲しい）は、「20～24歳」77.4%、「25～29歳」68.2%、「30～34歳」65.2%、「35～39歳」52.8%となっており、年代が下がるにつれ子どもが欲しい割合は多くなっている。

(3) 第一子の出産年齢

子どもが欲しい方の理想的な第一子の出産年齢としては、「25～29歳に出産」が49.1%で最も多く、半数を占めている。次いで、「30～34歳に出産」が29.7%、「35歳以降に出産」が9.3%、「24歳まで出産」が8.5%となっている。出産年齢の平均は、28.4歳となっており、男女別では、男性が29.8歳、女性は27.5歳となっている。年代別では「20～24歳」27.1歳、「25～29歳」、「30～34歳」がともに28.8歳、「35～39歳」が29.8歳で年代が上がるにつれて、理想的な出産年齢も高くなっている。

(4) 子どもが欲しくない理由

子どもが「欲しくない」と回答した方の理由としては、「現状では経済的に厳しい」が38.2%で最も多くなっている。次いで、「育児をする精神的な余裕がない」が26.3%、「将来の教育費が心配」が25.0%、「仕事に影響が出る、子育てと仕事を両立できない」、「子育てする体力に自信がない」、「子どもいじめ問題や犯罪が多く不安である」がともに19.7%となっている。

(5) 子どもが欲しい理由

子どもが欲しい（「1人」～「5人以上」）と回答した方の理由としては、「子どもに愛情を注ぐことができる」が56.1%、次いで「子どもを育てることによって自分が成長する」47.8%、「家族の結びつきを強める」37.7%、「次の社会を担う世代をつくる」27.1%、「自分の生命を伝える」21.2%となっている。

(6) 子育てで不安に思っていること

子育てで不安に思っていることは、「経済的にやっていけるか」が58.7%で最も多く、「子育てするのが大変そう」48.0%、「子育てに自信がない」31.4%、「精神的な面で子育てができるか」24.2%、「仕事に影響が出そう」21.9%となっている。